

2017年7月19日

第38号

# 全労連

全労連  
憲法・平和グループ

## 憲法

## 平和闘争ニュース



## 全国各地で、「私は萎縮しない!」の声あがる 7月11日、「共謀罪」法施行抗議し、廃止求める

「共謀罪」法が施行された11日、全国各地で市民が抗議し、「共謀罪」法廃止を求める行動が取り込まれました。国会議員会館前では、「総がかり行動実行委員会」と「共謀罪NO! 実行委員会」が呼びかけた集会に800人が参加しました。

主催者あいさつした弁護士の高橋雄一さんは、「共謀罪」法の強行採決から、いっそう国民の声と運動の勢いが強まっていることを指摘し、「廃止までたたかきましょう」と呼びかけました。連帯挨拶した市民連合の山口二郎さん(法政大学教授)は、「野党と市民が共闘して、解散・総選挙で政治を転換させましょう」と訴えました。民進党・日本共産党・自由党・社民党の国会議員も駆けつけてあいさつしました。

北海道では、雨の中、11日、緊急行動が行われ、札幌・大通公園に450人が参加しました。

新潟では、前日10日の夕方、市民と野党の宣伝・スタンディング行動が行われ120人がズラッと、横断幕やプラカードを持って並びました。

長野では長野駅前、「共謀罪を認めない抗議行動」が行われました。主催は、「憲法かえるのやだネット長野」、「ママは戦争しないと決めた実行委員会」、「信州レッドアクション」「僕らが主権者って知らなくて委員会」でした。

## 共謀罪施行の7・11、兵庫でも 怒りの行動 萎縮せず、戦争法とともに廃止のたたかいへ

【昼パレード】 憲法8団体+弁護士会協賛のパレードには50名が炎天下にもかかわらず駆けつけました。恒例の和田進さん(神戸大名誉教授)ミニ講演は、「都議選で自民惨敗となった国民の怒りがあるのに、9条壊憲に執念燃やす異常な安倍首相を厳しく批判、もっと幅広い市民の共同を」とうたったえました。三宮センター街でも、スマホ掲げてパレードを写す人や手を振る人びともありました。

【兵庫県弁護士会のうったえ】 午後1時半神戸大丸前には30名ほどが参加、多くの市民にアピール。県弁護士会「共謀罪問題対策チーム座長」の吉田維一弁護士が市民監視共謀罪施行を認めないと批判。次いで「共謀罪国会審議を寸劇にしたオンドク」を、安倍首相に道上弁護士、松本公安委員長

に吉田弁護士・仁比議員に吉江弁護士が扮し、共謀罪の国会審議がいかにも中途半端かを浮き彫りにしました。兵庫県弁護士会は施行に強く抗議する声明も出し、引き続き廃止を求める方針を市民に訴えました。

## 京都では、7月11日、「共謀罪法廃止」へ向けた宣伝行動

### 安倍政治・自公維の横暴を許さないと世論広がる



7月11日「共謀罪」の施行日に、共謀罪の廃止を訴える宣伝やスタンディングアピールが取り组まれました。

四条烏丸では午後6時から祇園祭の鉾立の準備が行われる中、京都憲法共同センターや京都総評の各労組、市民が集まり「共謀罪」法廃止を訴えるビラ配布や、「加計学園の真相解明」「民主主義破壊の政治を許すな」などのプラカードを手に掲げて道行く人に訴えました。

京都大学の高山佳奈子教授も参加し、各団体がガリレースピーチで訴えました。高山教授は「この法律は国会の

採決の進め方からも、憲法の内心の自由を侵すという点からも不法なものであり廃止しかない。国連の報告も個人報告でなく公式文書であり、プライバシー保護に危惧を表明している。人権無視の憲法違反の法律は使わず、廃止しかない」と訴えました。街頭では「安倍さんはどうなっているんや」と声をかけてくる人など、安倍政治への嫌悪感と疑念が広がっている事を示していました。

また、四条河原町では、市民団体などが呼びかけた抗議の宣伝行動が行なわれ、四条烏丸で宣伝を終えた参加者も加わり、スタンディングアピールをしました。



## 7・14 京都

### 憲法と民主主義の破壊に抗して、大学人が呼びかけ「京都の大学人と市民との集い」に100名が参加

7月14日、憲法と民主主義の破壊を危惧する大学人が呼びかけた、「京都の大学人と市民との集い」が、龍谷大学響都ホールで開催され、大学関係者や市民・学生など、100名以上が参加しました。龍谷大学の奥野教授が「特定秘密法に続き『共謀罪』法が強行され、憲法が保障する基本的人権を蹂躪し、市民社会を戦前に戻そうとするような動きとなっている。大学人は市民社会と連帯して民主主義を守るために足をふみ出したい」と報告。立命館大学小松浩教授・京都大学高山佳奈子教授・名古屋大学池内了名誉教授が報告し、学生や労働組合からもスピーチが行われました。





# 変えるな憲法!許すな!戦争する国づくり7・17集会に400人

しまね総がかり行動実行委員会は、7月17日(月)、14時00分から、松江テルサホールに全県から400人が集まり、「変えるな憲法!許すな!戦争する国づくり7・17しまね総がかり集会」を成功させました。講演をされた広渡清吾先生は、「ウソをつくのはファシズムのはじまり」「安倍改憲を許さない!そして安倍政治に反対する市民と立憲野党の共同の力で、国会に安倍政治に反対する強力な部隊をつくる必要がある」と訴えられました。

リレートークでは、安保関連法に反対するママの会@島根、福祉保育労組の矢田晃浩さん、日本ナザレン教団出雲教会牧師の永野健二さん、弁護士の鳥居竜一さん、民進党の亀井亜紀子さん、共産党の尾村利成さん、社民党の山本誉さんがそれぞれの立場で発言されました。

集会後は約200人でデモ行進。「戦争させない!」「9条こわすな!」「市民と野党の共同を!」等シュプレヒコールをしながら市民にアピールしました。



【↑デモの先頭を歩かれる講師の広渡清吾先生】

【←子どもさんも一緒に行進】



【ママの会のリレートーク】

### 参加者から

- 日本国憲法を国民の手で守り抜く運動を広げていきましょう (KT)
- 憲法を守るのは国家権力です!日本国憲法をまず守らせましょう!! (MT)
- 平和憲法を守り抜こう! (TH)
- 世界に誇れる日本の憲法を守ろう! (TI)